



県議会

とちぎ自民党議員会報 Vol.8

平成31年度の当初予算編成にあたり、とちぎ自民党議員会では、128項目に及ぶ政策・予算要望書を作成し、栃木県知事に提出しました。

その結果、平成31年度当初予算8,052億9,000万円(うち自民党上乗せ29億1,710万円)の成立を実現しました。私たちが重点的に取り組んだ事業の一部をご報告申し上げます。

特別支援教育を推進 子育て環境を充実させます!

平成31年1月「とちぎの子ども・子育て支援条例」が施行されましたが、少子化の流れに歯止めをかけるためには、育児に対する不安を軽減し、若い世代の子どもを持ちたいという願いを叶えられるよう社会全体で支援することが重要です。

とちぎ自民党は、子育て家庭に対する妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制整備や今後の幼児教育無償化による需要増加も見据え、市町と連携しながら、保育所、認定こども園等の計画的な整備を進めるよう要望しています。

私たち会派では、「幼稚園運営費補助金」21億5,547万円(うち自民党上乗せ1,326万円)・「幼稚園特別支援教育費補助金」4億9,705万円(うち自民党上乗せ1,058万円)の予算化を実現しました。

*「特別支援教育」とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。



私たちは、「実行力」。

「本物の出会い 栃木」 デスティネーションキャンペーン 総仕上げに取り組みます

来る4月から6月にかけて、県とJR東日本等が協働で取り組む「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン(アフターDC)が開催されます。

私たち会派では、昨年春に開催された本DCの成果と課題を踏まえ、アフターDCにオール栃木体制で取り組み、宿泊者数を増やしていくためには、さらにPR経費が必要と考え、「DC推進事業費」1億4,324万円(うち自民党上乗せ3,150万円)の予算化を実現しました。

アフターDC後の東京2020オリンピック・パラリンピック等の好機を逃さずインバウンド需要を確実に本県に呼び込み、外国人観光客の誘客対策や受け入れ環境整備を積極的に推進するよう、引き続き、要望して参ります。



野生鳥獣による被害を止めます

野生鳥獣による農林業や生態系等への被害が深刻化・広域化し、農林業の生産現場から悲痛な声が多く寄せられています。

有害鳥獣の捕獲強化は待ったなしであり、被害を軽減していくためのあらゆる対策を講じていかなくてはなりません。

そこで私たち会派では「地域ぐるみの総合的な鳥獣対策促進事業費」4億734万円(うち自民党上乗せ1億円)の予算化を実現しました。

野生鳥獣による被害軽減に向けて、市町や関係団体と協力し、地域の実情を踏まえながら、ICTの活用等による効果的な捕獲方法の検討や捕獲の担い手の確保・育成に努め、さらなる鳥獣害対策に取り組むよう、引き続き、要望して参ります。



県民の生命と財産を守る 防災・減災対策を推進します

県民の生活や経済活動の基盤となる道路・河川等の社会資本整備を推進することは、私たちが安全で安心な日常生活を送る上での最重要課題です。

これらの社会資本整備に必要な事業費を当初予算において確保していくため、私たち会派では、道路舗装の長寿命化や身近な道路整備等の「県単公共事業費」137億6,107万円(うち自民党上乗せ10億円)ほか、円滑に事業を執行していくための「公共事業関連調査費」4億円(うち自民党上乗せ4億円)の予算化を実現しました。

また、昨年は西日本に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨をはじめ、近年、全国各地でこれまで経験したことのないような大規模な自然災害が頻発し、多くの被害が発生しています。

私たち会派では、自然の猛威から県民の生命・財産を守るため、河川の氾濫や土砂崩れ等の不測の事態に備え、「緊急防災・減災対策事業費」20億円(うち自民党上乗せ10億円)の予算化を実現しました。

また、第353回通常会議では、民主市民クラブ及び共産党会派が反対する中、とちぎ自民党を中心に「国土強靱化対策の推進を求める意見書」を議決し、国に提出しました。



障害者の社会的自立を目指して!

栃木県では全ての県民が障害の有無に関わらず、共に支え合う地域社会の実現と障害者差別の解消に取り組んでいくため、「栃木県障害者差別解消推進条例」を制定しました。

とちぎ自民党は、農福連携をより一層促進する「ユニバーサル農業」の普及を図ることなどにより、誰もが地域の一員として互いを尊重し、支え合いながら暮らすことのできる「共生社会とちぎ」を目指しています。

そのため、障害のある方が日中働くことによって生きる喜びを持ち、人間としての豊かな成長につながることも、就労支援事業の一助となるよう、議会開会中の昼食は、宇都宮市近隣の作業所や福祉施設にお弁当を注文しています。

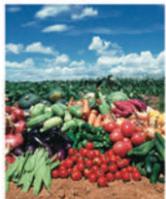


力強い農業の実現に向けて 園芸大国とちぎづくりを推進します

本県農業の成長産業化を進めるためには農産物の競争力を強化していかなければなりません。そのためには、水田を生かした露地野菜の生産拡大や加工・業務用野菜の産地育成など、園芸生産の積極的な拡大を進めることが必要と考えています。

そこで私たち会派では、「とちぎの農産物ブランド力強化推進事業費」1億3,733万円(うち自民党上乗せ1,000万円)、「園芸大国とちぎづくり推進事業費」6億3,201万円(うち自民党上乗せ8,000万円(一部再掲))の予算化を実現し、事業内容を大きく充実させることができました。

加えて、力強い農業の実現のためには、経営規模の拡大が不可欠であるので、その基礎となる担い手への農地集積・集約化の取り組みを加速するとともに、農地の大区画化や排水対策等の整備が必要であるため、農政部関連の「県単公共事業費」2億4,742万円(うち自民党上乗せ3,000万円)・「公共事業関連調査費」5,768万円(うち自民党上乗せ2,000万円)の予算化を実現しました。



学校安全を推進します

近年、児童生徒が犯罪に巻き込まれる事案が発生するなど、社会が年々変化し、学校を取り巻く課題が多様化している中、児童生徒がいきいきと活動し、安全に学べる環境づくりを進めることは重要です。

このため、私たち会派では、学校における組織的な安全管理の一層の充実を図り、学校教育活動全般における安全管理の更なる強化を要望していきます。

特に、学校行事や部活動において、那須雪崩事故のような痛ましい事故を二度と起こすことのないよう、各学校や、県高等学校体育連盟が一丸となって、「那須雪崩事故を教訓とした学校安全のための取組」を着実に進めるよう、引き続き、要望して参ります。



栃木県政に対するご意見・ご要望は、私たち自民党栃木県議会議員へどうぞ

とちぎ自民党議員会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-22
(自民党栃木県連)
TEL.028-622-4100 FAX.028-622-3400

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20
(とちぎ自民党議員会)
TEL.028-623-3708 FAX.028-623-3725

●とちぎ自民党ホームページ▶▶

とちぎ自民党

検索

本紙面は、とちぎ自民党議員会の政策調査活動と現時点での結果を報告し、県民の皆様から、本会及び本会所属議員にご意見ご提言をお願いする双方向通信を目指して作成致しました。皆様から思惟のない声をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。